



# 営農タイムリー！



## 発生予察情報について(6月)

2024年6月28日発行

### 病害虫発生予報第4号(6月)

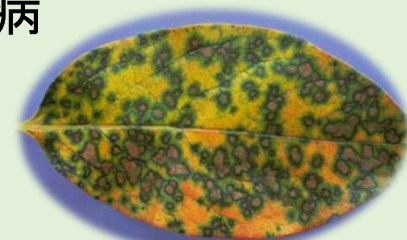
#### 果樹

##### カキ 落葉病

予報内容 発生量 : **平年比 やや多い**



角斑落葉病



円星落葉病

#### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) **角斑落葉病**と**円星落葉病**があり、前者の発病は7月から、後者は9月から見られる。主な感染時期は前者が6月中旬から7月中旬で、後者が5月下旬から7月上旬である。前年の被害葉(落葉)に形成された前者は分生子、後者は子のう胞子が第一次伝染源となる。降雨の多い年ほど被害が多い。感染時期の防除を徹底する。

#### 円星落葉病

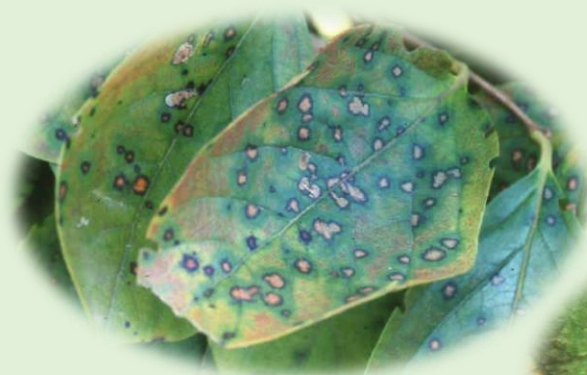
**病徴と診断** : 葉に発生する。初め針頭大の黒色・小円形病斑を生じ、その周縁部が黒色の赤褐色・円形病斑を形成する。葉裏の病斑上に小黑粒点を生じる。発病すると、急激に落葉する。

#### 伝染経路と

**発病条件** : 病原菌は被害葉中に菌糸・菌糸塊で越冬し、翌春子のう殻を形成する。子のう殻中にできた子のう胞子は、6月中旬頃から飛散し、若葉の気孔から侵入する。発病まで60~80日前後の潜伏期間がある。

#### 防除のポイント:

- 被害落葉を集め焼却する。
- 樹勢が弱った木に発病が多いので、土壌改良や肥培管理に注意する。
- 薬剤防除は発病前(6月頃)に重点をおき、葉裏にも薬液が付着するように散布する。





# かき 落葉病 登録薬剤

2024.6 No.1

成分系	FRAC コード	薬剤名	病害虫草名	希釈倍数、 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分別 総使用回数
チオファ ネート	1(B1)	<b>トップジンM</b> 水和剤	うどんこ病 炭疽病 落葉病 黒星落葉病	1000～1500倍	収穫前日まで	6回以内	10回以内(但し、塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内)
ベンゾ ゾイミ		<b>ベニレート</b> 水和剤	うどんこ病 すす点病 炭疽病 落葉病	2000～3000倍	収穫前日まで	6回以内	6回以内
ジチオカー バメート チオファ ネート	1(B1) M03(M)	<b>ラピライト</b> 水和剤 〔トップジン+マンネブ〕	うどんこ病 炭疽病 落葉病	500～800倍	収穫45日前まで	2回以内	10回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内):2回以内
N-フェニ ルカーバ メート(殺菌 剤):チオ ファネート (殺菌剤)	10(B2) 1(B1)	<b>ゲッター</b> 水和剤 〔トップジンM+パウミル〕	炭疽病 落葉病	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内:10回以内(塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内)
トリ アゾ ール	3(G1)	<b>インダー</b> フロアブル	うどんこ病 落葉病	5000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
		<b>オンリーワン</b> フロアブル	うどんこ病 炭疽病 落葉病	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
		<b>スコア</b> 顆粒水和剤	炭疽病 落葉病 落葉病	3000倍 40倍収穫前日まで / 無人航空機による散布	収穫前日まで	3回以内	3回以内
トリアゾール マンゼブ・ジ チオカーバ メート	3(G1) I:UN, 03(M)	<b>テーク</b> 水和剤 〔サンリット+マンゼブ〕	うどんこ病 炭疽病 落葉病	600倍	収穫45日前まで	2回以内	2回以内:2回以内
ピラゾール -4-カル ボキサミド	7(C2)	<b>アフエット</b> フロアブル	落葉病	2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
		<b>ネクスター</b> フロアブル	落葉病	1500倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
ピラジンカ ルボキサミ ド		<b>パレード15</b> フロアブル	落葉病	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内
メ リト レキ ーシ トア ク	11(C3)	<b>アミスター 10</b> フロアブル	うどんこ病 黒点病 炭疽病 落葉病	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
		<b>スクレア</b> フロアブル	落葉病	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内
イオ ミキ ノシ	11(C3)	<b>ストロビー</b> ドライフロアブル	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病落葉病	3000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
ベンジ ルカー バメート		<b>ファンタジスタ</b> 顆粒水和剤	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病 落葉病	3000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
ピラジンカ ルボキサミ ド メキシカー バメート	11(C3) 7(C2)	<b>ナリア</b> WDG 〔カルビオ+カンタス〕	落葉病	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内	2回以内:2回以内
2,6-ジニ トロアニリン	29(C5)	<b>フロンサイド</b> sc	黒星落葉病 灰色かび病 炭疽病 落葉病	2000倍	収穫45日前まで	1回	1回
フェニル プロパ ノール	52(A5)	<b>ミキワ20</b> フロアブル	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病 落葉病	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内

# かき 落葉病 登録薬剤

2024.6 No.2

成分系	FRAC コード	薬剤名	病害虫草名	希釈倍数、 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分別 総使用回数
無機銅		 ICフィルド 412	落葉病	50倍	-	-	-
有機銅	M01(M)	キノンドー フロアブル	うどんこ病 炭疽病 落葉病	800~1000倍	収穫14日前まで	5回以内	8回以内(塗布は3回 以内、散布は5回以 内)
		キノンドー 水和剤40	うどんこ病 炭疽病 落葉病	500倍	収穫14日前まで	5回以内	
		 ヨネポン水和剤	落葉病	800~1000倍	収穫21日前まで	4回以内	4回以内
ジチオ オカ ト	M03(M)	 エムダイファア水和剤	炭疽病 落葉病	400~650倍	収穫45日前まで	2回以内	2回以内
		 トレノックス フロアブル	炭疽病 落葉病	500倍	収穫30日前まで	2回以内	
フタルイ ミド	M04(M)	 オ-ソサイド 水和剤80	すす点病 炭疽病 落葉病	1000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内
クロロニ トリル	M05(M)	 パスポート フロアブル	炭疽病 落葉病	1500倍	収穫30日前まで	3回以内	3回以内
ビス グ ア ニ ジ	M07(M)	 ベロコート 水和剤	うどんこ病 すす点病 灰色かび病 黒星病 炭疽病 落葉病	1000~1500倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
キノ	M09(M)	 テランフロアブル	炭疽病 落葉病	2000倍	収穫90日前まで	5回以内	5回以内
ジマ ン オ カ ゼ ブ	I:UN, M03(M)	 シマンダイセン水和剤	黒星病 炭疽病 落葉病	400~800倍	収穫45日前まで	2回以内	2回以内
		 ペンコゼブ水和剤	落葉病	400~800倍	収穫45日前まで	2回以内	



## 果樹全般 カメムシ類

予報内容 発生量 : **平年比 多い (前年比 多い)**

### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 園外から飛来して局地的に発生するので、特に山林などの隣接園では注意する。
- (2) 夜行性であるため、夕方の防除が効果的である。
- (3) 合成ピレスロイド系薬剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類の多発を招く場合があるので、注意が必要である。

### チャバネアオカメムシ

**形態** : 成虫は体長11mm内外、緑色の体で、翅は茶褐色。

**生態と被害** : 年発生回数は2~3回といわれるが、詳細は不明である。越冬は林床落葉の下で成虫で行われる。生態等についてはクサギカメムシと同様であるが、世代のつながりなど不明な点が多い。両種共重要な発生源はスギとヒノキであり、これらの植物での球果の結実量の多少が、カメムシの発生量および果樹の被害の多少に大きく関与している。これまでの観察では、球果の結実が少ない年に果樹の被害が多くなる傾向がある。

### クサギカメムシ

**形態** : 成虫は体長16mm内外、暗褐色の地に黄褐色の斑紋がある。

**生態と被害** : 年1回発生で、成虫で家屋内や大木の樹皮間隙で越冬する。春から夏にかけてはサクラ、実をつけたクワ、キリ、ウメ、モモ等で生活し、夏から秋にかけては針葉樹(スギ、ヒノキなど)に多い。成虫は移動力が高くナシ園には果実がつき始めると飛来し吸汁加害する。幼果にはあまり加害しないが、大きくなると加害部は海綿状に変質し肥大せず、奇形果となる。



チャバネアオカメムシ被害(カキ)



チャバネアオカメムシ成虫



クサギカメムシ



チャバネアオカメムシ卵

